

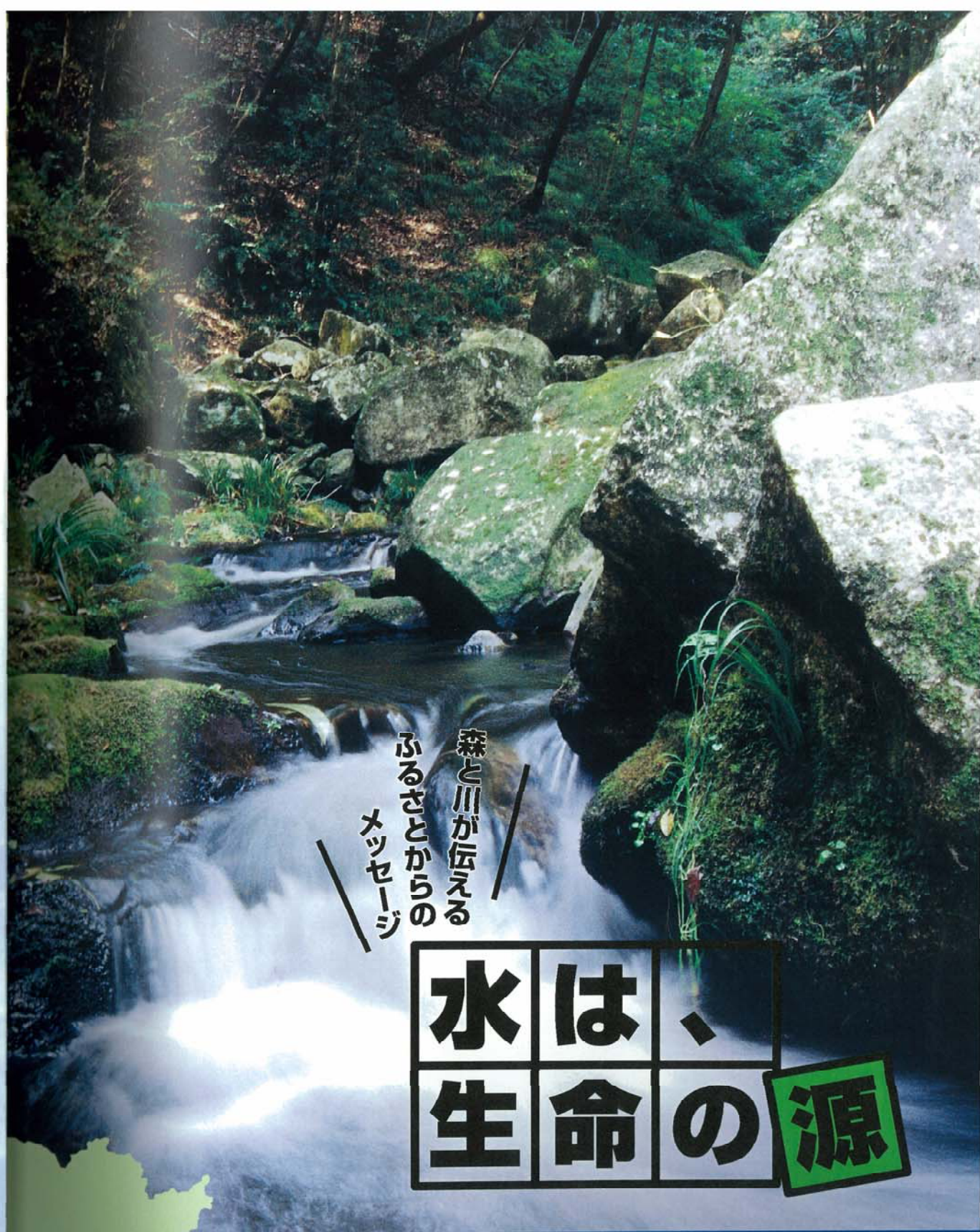
全国川サミットとは？

一級河川の河川名を自治体名にしている全国の市区町村が集い、地域の資源となる川と流域との深い係りや人々との共生を探ることを目的に全国へと啓発普及を図る年一回の貴重なサミットです。

2003年に開く加茂川サミットでは、田舎の中の小さな河川である加茂川にスポットをあて、美しい自然の財産として後世に伝えていく交流の場とします。



第12回 「全国川サミット in 加茂川」
 森と川が伝えるふるさとからのメッセージ
 ～水は、生命の源～
 「全国川サミット in 加茂川」実行委員会準備室
 (加茂川町役場企画課内)
 〒709-2398
 岡山県加茂川町下加茂1073-1
 TEL 0867 (34) 1113



森と川が伝える
 ふるさとからの
 メッセージ

**水は、
 生命の源**

**第12回 全国川サミット
 in 加茂川 報告書**

全国川サミット連絡協議会・岡山県加茂川町・旭川流域ネットワーク

「第12回全国川サミットin加茂川」を開催

中国地方（5県）で唯一、一級河川名を自治体名にしている岡山県 加茂川町で、平成15年11月14日から3日間にわたり、関係自治体（全国51市区町村）へ呼びかけ「第12回全国川サミットin加茂川」を開催いたしました。

加茂川町は、岡山県のちょうど真ん中に位置することから、「ハートオブおかやま」をキャッチフレーズに日本一のハートのまちづくりに挑戦しています。

かつては、吉備三国の国境として栄え、今も往時を偲ばせる遺跡の種々が残っています。また、一方では21世紀を豊に生きる「吉備高原都市」の福祉・文教施設もあって、歴史と未来が調和共存する地でもあります。

今回の加茂川サミットでは、田舎のなかの小さな河川にスポットをあてながら、私たちが森や水に対する深い係りや共生していることを再認識すると共に、美しい自然を財産として後世に伝えていく承継者たちの交流の場となりました。

全国川サミット連絡協議会

会長（加茂川町長）片山 舜 平

1. 「全国川サミット in 加茂川」 実施内容

1. 「全国川サミット」とは

「全国川サミット」とは、下表に示す1級河川名を自治体名とする全国の市区町村51団体が「全国川サミット連絡協議会」を組織し、未来に向けて川と流域の係わりやよりよい川との共生を探り、川のすばらしさを全国に向けて発信していく年1回の貴重な大会である。

この全国川サミットは、平成4年に富山県庄川町からはじまり、12回目を迎える今回は、中国地方で唯一、一級河川名をもつ当地での開催となった。

「全国川サミット連絡協議会」参加自治体一覧

	都道府県	市区町村名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1	北海道	鶴川町	むかわちょう	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	秋田県	雄物川町	おものがわまち	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○
3	東京都	江戸川区	えどがわく			○	○	○			○	○	◎	○
4	富山県	庄川町	しょうがわまち	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	岐阜県	揖斐川町	いびかわちょう				○	○	○	○		○	○	○
6	静岡県	大井川町	おおいがわちょう	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
7	三重県	宮川村	みやがわむら	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○
8	兵庫県	加古川市	かこがわし	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
9	兵庫県	揖保川町	いぼがわちょう	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○
10	奈良県	十津川村	とつかわむら		○	○			○	○	○	○	○	○
11	岡山県	加茂川町	かもがわちょう		○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
12	宮崎県	北川町	きたがわちょう			○	○	○	○	◎	○	○	○	○

過去開催参加市区町村

○…過去参加状況 ◎…開催自治体

第1回	富山県	庄川町	15自治体
第2回	北海道	鶴川町	16自治体
第3回	静岡県	大井川町	21自治体
第4回	兵庫県	加古川市	22自治体
第5回	徳島県	那賀川町	20自治体
第6回	秋田県	雄物川町	21自治体
第7回	宮崎県	北川町	21自治体
第8回	愛媛県	肱川町	17自治体
第9回	三重県	宮川村	17自治体
第10回	兵庫県	揖保川町	17自治体
第11回	東京都	江戸川区	14自治体

全国川サミット連絡協議会会則

(名称及び目的)

第1条 この会は、全国川サミット連絡協議会(以下「協議会」という。)と称し、全国の川と流域との係わりや21世紀に向けてのより良い川との共生の方向を探るとともに、川を利用したイベントを行い、全国へ向けて川の理解を深め、啓発普及を図ることを目的とする。

(事務所)

第2条 協議会の事務所は、全国川サミットの主催地に置く。

(事業)

第3条 協議会は、次の事業を行う。

- 1 全国川サミットの開催
- 2 その他の協議会の目的達成に必要な事項

(会員)

第4条 協議会は、次の者をもって会員とする。

- 1 一級河川名を名にする市区村
- 2 協議会の目的に賛同するもの

(役員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

- 1 会長1名(全国川サミット主催地の市区町村長とする。)

(経費)

第6条 協議会の経費は、会費及び補助金その他の収入をもって充てる。

(細則)

第7条 この会則に定めるもののほか協議会の運営に必要な事項は、会長が定める。

附則

この会則は、平成4年8月8日より施行する。

今回までの開催地とテーマ

	開催地	テーマ
第1回	富山県庄川町	川は未来に夢はこぼ
第2回	北海道鶴川町	きらめきリバータウン —川は人の未来を求めて—
第3回	静岡県大井川町	夢と希望あふれる川づくり —川は命、未来の子供たちへ引き継ごう—
第4回	兵庫県加古川市	川は友だち —ひと・まち・川・ちょっと素敵な物語—
第5回	徳島県那賀川町	未来へ語ろう！私たち川家族
第6回	秋田県雄物川町	川がつなぐ「ひと・まち・こころ」
第7回	宮崎県北川町	思いでいっぱい 不思議がいっぱい —川を彩るホテルの光が子供達への贈り物—
第8回	愛媛県肱川町	21世紀へのメッセージ —それは川から始まる—
第9回	三重県宮川村	川に愛される人になりたい —ちょっとすてきな川家族—
第10回	兵庫県揖保川町	歴史に学び明日を見つめる川づくり —ともに創ろう川の未来 水の未来—
第11回	東京都江戸川区	暮らしにとけ込む、にぎわいの川 —都市の中の川を考える—
第12回	岡山県加茂川町	森と川が伝えるふるさとからのメッセージ —水は、生命の源—

2. 加茂川町開催の意義

平成4年から始まった全国川サミットは、今年で12回目を数え、中国地方では、唯一1級河川名をもつ岡山県加茂川町で開催することとなった。

加茂川は、岡山県下3大河川のひとつ旭川水系（中流域）の支流としての活用を図り、森林公園、キャンプ場、親水公園、ホテルの里、プレーパークなど小河川の水辺と親しめる整備事業に取り組んだ。

今回の「全国川サミットin加茂川」では、ふるさとに欠かせない人・森・川との関わりを再認識する機会とし、川の大切さを全国へと発信していく。

3. 実施成果

- 1) 加茂川を舞台として、町民の多様な活動を推進
「全国川サミットin加茂川」を機会に、地域民が主体となって「川」を中心とした自然保護活動の推進を図った。
- 2) 人や自然にとって貴重な財産である、「川」の恵みを再認識
地球の環境資源である「川」を守る心を養うとともに、加茂川を中心とした地域レベルから「水の大切さ」を再認識し、流域全体の推進活動を広げた。
- 3) 「ふるさとに出会えるまち加茂川」を全国へ発信
恵まれた自然環境や小河川を活かしながら、町民が「日本一田舎のまちづくり」に挑戦している姿を、全国へ向けてPRする機会となった。

4. テーマ

「第12回全国川サミットin加茂川」のテーマは、加茂川町での開催意義や開催目的などを踏まえ、つぎのように設定した。

【テーマ】 森と川が伝えるふるさとからのメッセージ
～水は、生命の源～

5. 実施内容

「第12回全国川サミットin加茂川」の実施概要および3日間のプログラム、会場概要はつぎのとおりである。

1) 開催概要

▽ 名 称 :	第12回全国川サミットin加茂川
▽ テーマ :	森と水が伝えるふるさとからのメッセージ ～水は、生命の源～
▽ 日 時 :	平成15年11月14日(金)～16日(日)
▽ 会 場 :	加茂川町「農村環境改善センター」 吉備高原リゾートホテル等
▽ 主 催 :	全国川サミット連絡協議会・加茂川町
▽ 共 催 :	町商工会・青壮年団体・地域づくり団体
▽ 実施主体 :	全国川サミットin加茂川実行委員会
▽ 後 援 :	旭川流域連絡協議会 国土交通省岡山河川事務所 岡山県 旭川流域ネットワーク (社)中国建設弘済会

「第12回全国川サミットin加茂川」大会 日程表

11月14日(金)

- [受付] ホテルサンピーチ岡山(3Fピーチホール前)
 ■ 12:30～13:30 60名
 休憩室(3Fマスカット・メロン)
 [全国川サミット連絡協議会総会] (3Fピーチホール)
 ■ 13:30～14:00 60名
 1) 第11回江戸川大会の事業報告及び決算報告
 2) 第12回加茂川大会の事業計画及び予算案の承認
- [旭川下流域周辺視察] 岡山市(旭川・百間川・後楽園)
 ■ 14:00～16:30 60名
 1) 旭川下流域(中原堤防 14:20～14:40 百間川分流部あずまや付近 14:45～)
 2) 後楽園 15:00～16:30
- [参加自治体歓迎会] ホテルサンピーチ岡山(3Fピーチホール) 80名
 ■ 18:30～20:00 (芸能控室2Fスカイホール・サニーホール)
 1) 歓迎挨拶～アトラクション (清流恩木太鼓・備中神楽成羽日名社中)
 2) 自治体交歓会 18:30～20:00 19:00～19:20 19:30～19:50
 (▼参加者交流会 20:15～21:30 2F吉備の間)

11月15日(土)

- [サミット記念碑除幕式] (加茂川町へ専用バスで移動)
 下加茂プレーパーク (河川公園)
 ■ 9:30～10:00 60名
 1) 除幕式
- [開会式] (専用バスで移動)
 ハートオブおかやま会館(2Fホール)
 ■ 10:30～11:00 80名
 1) 開会セレモニー
 2) 参加自治体紹介(11自治体紹介)
 3) 開会宣言(加茂川町助役)
 4) 会長挨拶(加茂川町長)
 5) 来賓挨拶(国交省中国地方整備局河川部長・県土木部長・流連会長)

[事例発表]

- 11:00~12:00 ハートオブおかやま会館2Fホール 80名
1) 事例紹介(4自治体等)
・森や川を活用した地域づくり 県内(旭川流域ネット・加茂川町)
をテーマに事例発表 全国(秋田県雄物川町・三重県宮川村)
(昼食) ハートオブおかやま会館・片山邸
■ 12:00~13:00 ☆全国自治体・来賓は「茶房かたやま邸」
(専用バスで視察)
[町内視察](片山邸・宇甘溪・ストックファーム・道の駅・吉備高原都市・鳴
滝森林公園)
■ 15:20~17:00

(2003 旭川流域交流シンポジウム) 農村環境改善センター 100名

2003 旭川流域交流シンポジウム

「魚がのぼりやすい川づくりと住民参加」

- 13:00~13:15 開会 挨拶 旭川流域ネットワーク代表世話人 池田満之
旭川源流の碑実行委員会会長 能勢晃正
旭川流域連絡協議会会長 落合町長 辻騏一郎
歓迎の挨拶 加茂川町長片山舜平
- 13:15~14:15 活動発表会
1) 旭川流域連絡協議会報告「地域の防災から流域の防災へ」
旭川流域連絡協議会事務局 志々田武幸
2) 旭川流域の活動発表
3) 吉井川流域の活動発表
- 14:15~14:20 テーマ提案理由説明 元山陽新聞解説委員 吉澤利忠
- 14:20~15:20 基調講演「魚がすみやすい川づくり」
国土交通省河川局河川環境課 河川環境保全調整官金尾健司
- 15:20~15:30 休憩 (「パネル」「のぼり」コンテスト投票)
- 15:30~17:00 パネルディスカッション
「魚がのぼりやすい川づくりと住民参加」
パネラー 国土交通省河川局河川環境課河川環境保全調整官金尾健司
農林水産省中四農政局事業調整室長 水間啓慈
(ダム上流) 久世の自然を生かす会 花坂和男
(ダム下流) 旭川南漁協協同組合 江田昭二
旭川建部ネットワーク 景山和由
コーディネーター 岡山大学工学部教授 名合宏之

17:00~17:05 「パネル」「のぼり」コンテスト入賞発表

17:05~17:10 分科会会場へ移動

17:10~19:00 分科会

第1分科会「魚ののぼりやすい川づくり」

農村環境改善センター(1階ホール)

第2分科会「山と川について」

農村環境改善センター(2階会議室)

19:00~19:30 懇親会場 飛躍の郷「ひだまり」へ移動

[全国川サミット閉会式]

ハートオブおかやま会館(2階会議室)

■ 17:00~17:30 (同時進行)

- 1) サミット講評 旭川流城市町村
- 2) サミット宣言 加茂川町長 片山舜平
- 3) サミット旗受渡 加茂川町長→奈良県十津川村長(次回開催地)
- 4) 閉会宣言

2003 旭川流域交流交流懇談会

19:30~21:00 交流懇親会「源流の秋を味わう」

- 1) あいさつ 中流域代表世話人
- 2) 歓迎の言葉 加茂川町長 片山舜平
- 3) 乾杯 加茂川実行委員会
- 4) アトラクション 芸能保存会
- 5) 全体懇親会 フリーフード&フリードリンク
- 6) 加茂川夢大花火

21:00 閉会

11月16日(日)

「旭川源流」の碑建立

10:00 「旭川源流の碑」運搬~建立

11:30 建立完成式

挨拶 加茂川実行委員会

祝辞 旭川連絡協議会

感想 最上流域代表・上流域代表・中流域代表・下流域代表

記念撮影

12:00 昼食(おむすび弁当)

12:30 解散

【実施会場概要】

- ◆ ホテルサンビーチ岡山 (岡山市駅前町)
 - 1) 3階ビーチホール (総会会場)
 - ・ 会議仕様
 - 2) 3階ビーチホール (交歓会場)
 - ・ 歓迎会

- ◆ 下流域視察 (岡山市旭川周辺)
 - ・ 中原堤防
 - ・ 百間川分流部あずまや付近
 - ・ 後樂園

- ◆ 下加茂プレーパーク (加茂川町下加茂)
 - 1) サミット記念碑除幕式 (会場)

- ◆ 農村環境改善センター (加茂川町下加茂) 役場隣
 - 1) 1階ホール (メイン会場)
 - ・ 受付～案内
 - ・ 各町内小学校「学習活動」展示紹介コーナー
 - ・ メイン行事 (流域シンポジウム)

- ◆ ハートオブおかやま会館 (加茂川町下加茂) 役場隣
 - 1) 開会式
 - 2) 昼食会場
 - 3) 閉会式

- ◆ 百姓王国「飛躍の郷ひだまり」 (加茂川町上田西)
 - 1) 情報交流会 (メイン会場)
 - 2) アトラクション (加茂川芸能保存会・日本一を夢みる「夢花火」)

第12回全国川サミットin加茂川 共同宣言

私たちは、岡山県の中心にある吉備高原台地に源を発する「加茂川」に集い、「森と川が伝えるふるさとのメッセージ」をテーマに、「第12回全国川サミットin加茂川」を開催いたしました。

近年の開発事業や環境破壊によって失われつつある自然の恵みである「水」は、私たちにとって生命の源でもあります。

そこで、21世紀は水の時代ともいわれ、今年度は田舎の小さな河川である加茂川にスポットをあて、貴重な水資源を守るため全国参加自治体とともに、つぎの運動を全国へ向けて発信していきます。

1. 次代を担う子どもたちにもっと森や川の大切さを知るための体験学習に

積極的に取り組んでいきます。

2. 自治体と地域が一体となり、森や川を私たちの共有財産として保護活動に

積極的に取り組んでいきます。

3. 川に関する活動や地域間の連携を河川愛護に活かしながら、交流の輪を全

国へ広げていきます。

平成15年11月15日

第12回全国川サミットin加茂川参加者一同
代表 加茂川町長 片山舜平



協議会総会



旭川下流域視察



後楽園視察



歓迎会



情報交換会



サミット大会記念碑除幕式(下加茂)



(下加茂プレーパーク) サミット大会記念碑除幕式



サミット開会式



茶房かたやま邸(昼食～交流)



流域ネット(シンポジウム)



流域ネット事業の紹介(ar-net)



開催町事例紹介(岡山県加茂川町)



町内各学校展示発表会



町内視察(道の駅)



優良事例紹介(秋田県雄物川町)



優良事例紹介(三重県宮川村)



サミット宣言



次期開催地引渡式(奈良県十津川村へ)



源流の碑建立出発式(津賀小)



約7ヶ月間旭川流域を旅して建立地へ到着



建立式(鳴滝森林公園)



全国から建立用川石が参加



サミット及びar-net事業閉会



ar-net「旭川源流の碑」を鳴滝森林公園に建立